

文化に関する世論調査〈概要〉

平成30年4月

調査実施の概要

1 調査目的

芸術文化に関する意識や意見、文化プログラムについての認知度、期待している文化施策等を把握し、今後の文化行政の参考とするため。

2 調査項目

- (1) 東京の文化
- (2) 都民の文化活動
- (3) 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラム
- (4) これからの東京の文化振興（経済と文化）
- (5) ヘブンアーティスト

3 調査設計

- (1) 調査対象：東京都全域に住む満18歳以上の男女個人
- (2) 標本数：3,000標本
- (3) 標本抽出方法：住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法
- (4) 調査方法：調査員による個別訪問面接聴取法
- (5) 調査期間：平成29年11月4日～11月20日/平成30年1月18日～1月29日
- (6) 調査実施機関：一般社団法人輿論科学協会

4 回収結果

- (1) 有効回収標本数（率）1,801標本（60.0%）
- (2) 未完了標本数（率）1,199標本（40.0%）

東京都生活文化局

調査結果の概要

※nは質問に対する回答者数で、比率算出の基数を示す

※M. A. はいくつでも選択、3M. A. は3つ選択、2M. A. は2つ選択

※M. T. は回答の合計をnで割った比率

1 東京の文化

(1) 文化的な環境：

美術館や劇場、映画館など東京の文化施設で行われているさまざまな展覧会や公演といった、文化的な環境を楽しんでいるかを聞いた

(本文P3～P5)

- ・『楽しんでいる (計)』が53% (平成15年より1ポイント増加)
- ・『楽しんでいない (計)』が44% (平成15年より3ポイント減少)



(注)『楽しんでいる (計)』は「楽しんでいる」「まあ楽しんでいる」の合計

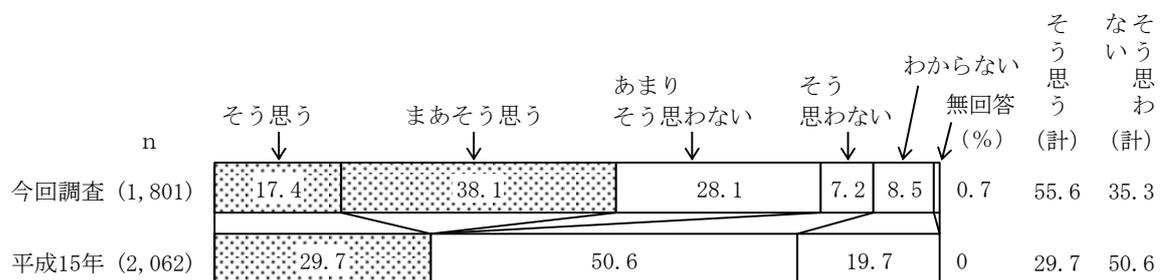
『楽しんでいない (計)』は「あまり楽しんでいない」「楽しんでいない」の合計

(2) 東京は世界的な文化都市か：

パリ、ロンドン、ニューヨークといった文化的な個性を持つ都市に比べて、東京も同じように世界的な文化都市だと思うか聞いた

(本文P6～P7)

- ・『そう思う (計)』が56% (平成15年より26ポイント増加)
- ・『そう思わない (計)』が35% (平成15年より15ポイント減少)



(注1)『そう思う (計)』は「そう思う」「まあそう思う」の合計

『そう思わない (計)』は「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計

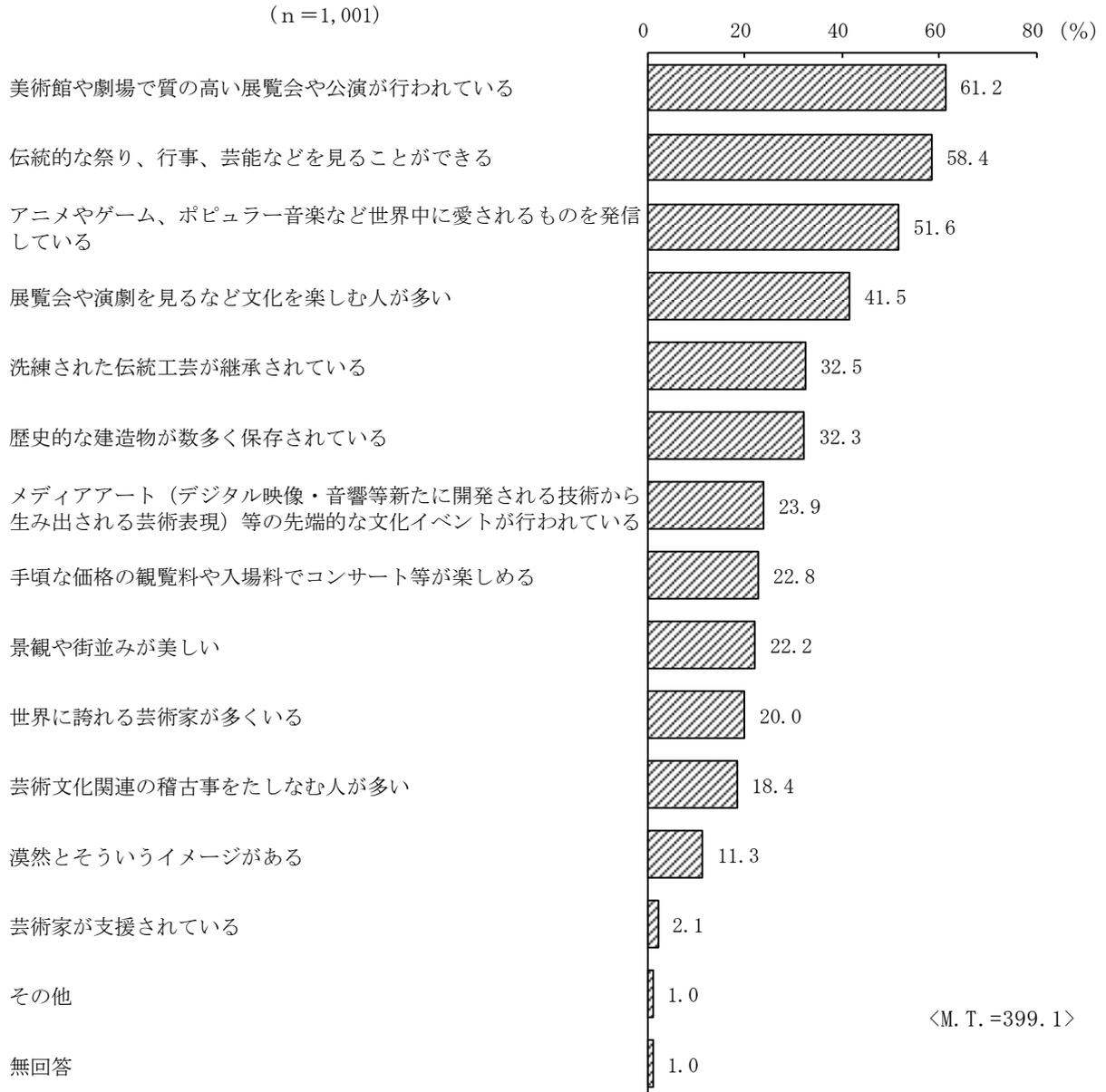
(注2) 今回調査から新たに「まあそう思う」「あまりそう思わない」を追加した

(3) 文化都市であると思う理由：

東京は世界的な文化都市だと思うと答えた人（1,001人）にその理由を聞いた（M. A.）

（本文P8～P9）

- ・「美術館や劇場で質の高い展覧会や公演が行われている」が61%でトップ
- ・「伝統的な祭り、行事、芸能などを見ることができる」58%、「アニメやゲーム、ポピュラー音楽など世界中に愛されるものを発信している」52%、「展覧会や演劇を見るなど文化を楽しむ人が多い」42%が続く

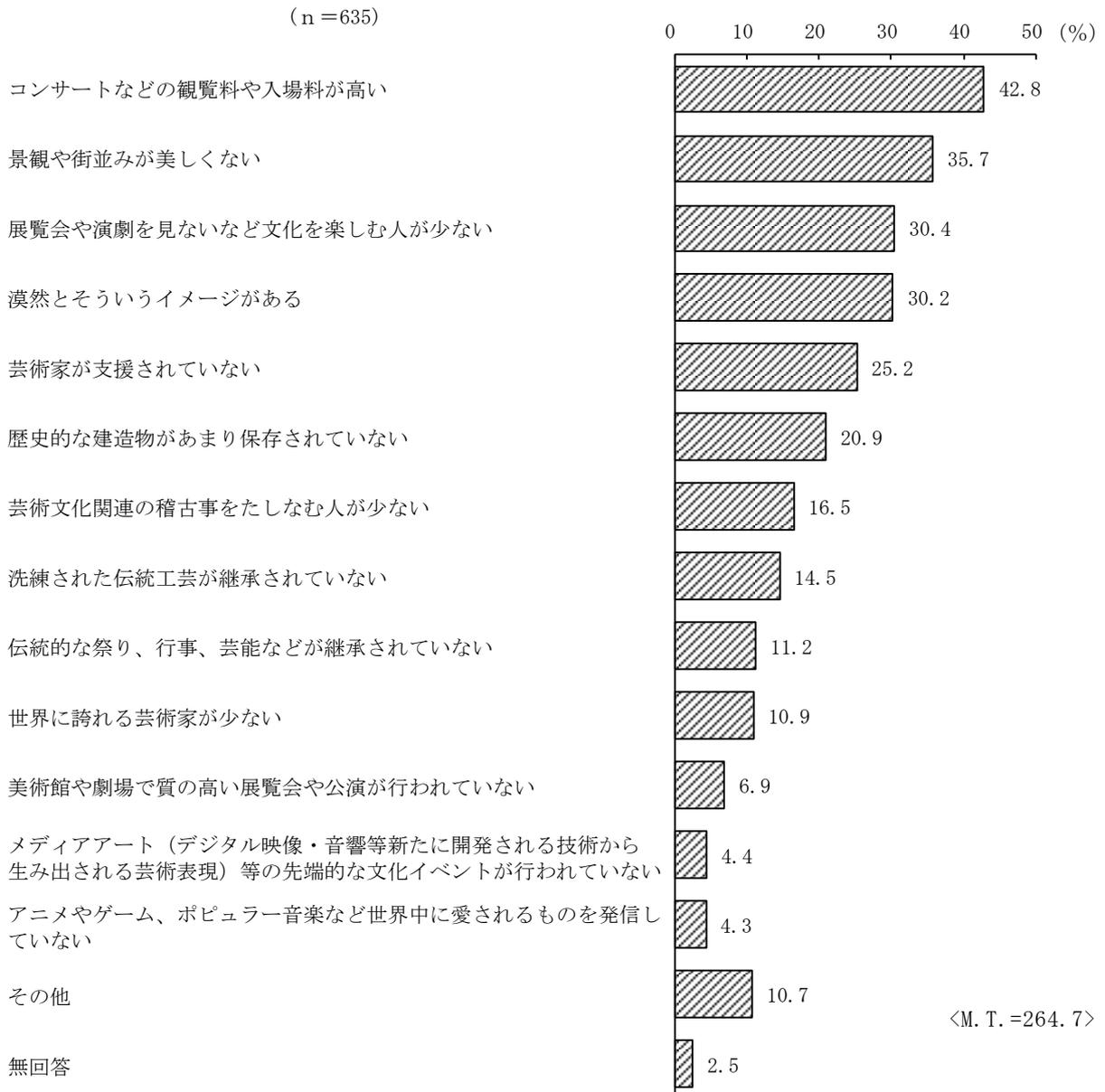


(4) 文化都市であると思わない理由：

東京は世界的な文化都市だと思わないと答えた人（635人）にその理由を聞いた（M. A.）

（本文 P 10～P 11）

- ・「コンサートなどの観覧料や入場料が高い」が43%でトップ
- ・「景観や街並みが美しくない」36%、「展覧会や演劇を見ないなど文化を楽しむ人が少ない」、「漠然とそういうイメージがある」30%が続く



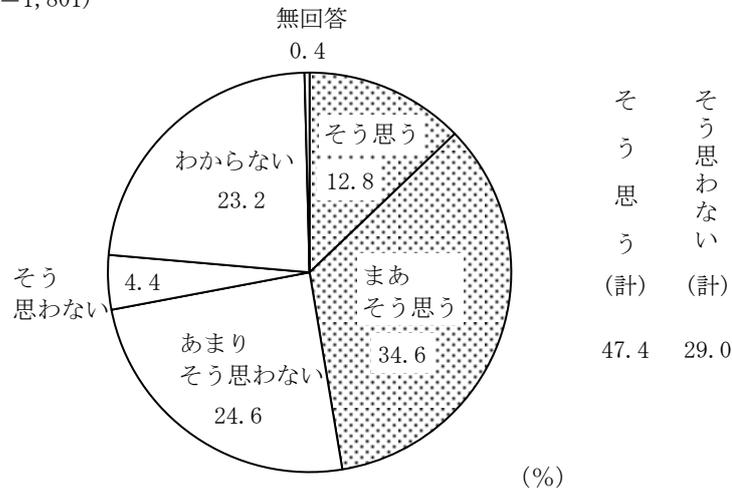
(5) 国際的な文化交流：

都内において、国際的な文化交流が行われていると思うか聞いた

(本文 P 12～ P 13)

- ・『そう思う (計)』が47%
- ・『そう思わない (計)』が29%

(n = 1, 801)



(注) 『そう思う (計)』は「そう思う」「まあそう思う」の合計
 『そう思わない (計)』は「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計

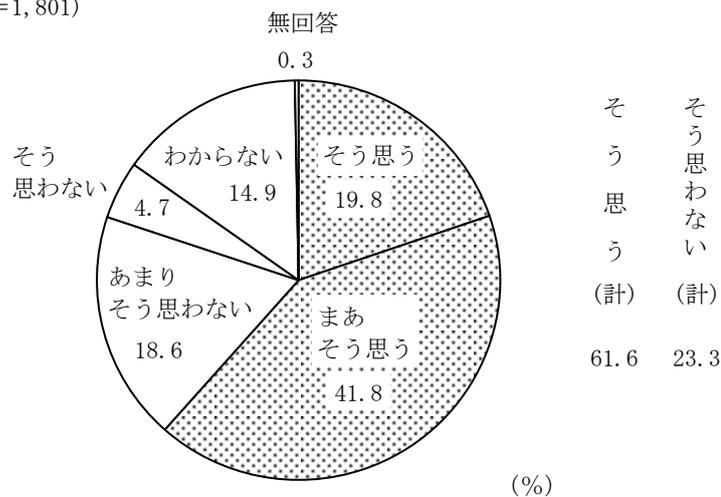
(6) 芸術文化への認識：

東京の芸術文化を誇りに思うか聞いた

(本文 P 14～ P 15)

- ・『そう思う (計)』が62%
- ・『そう思わない (計)』が23%

(n = 1, 801)



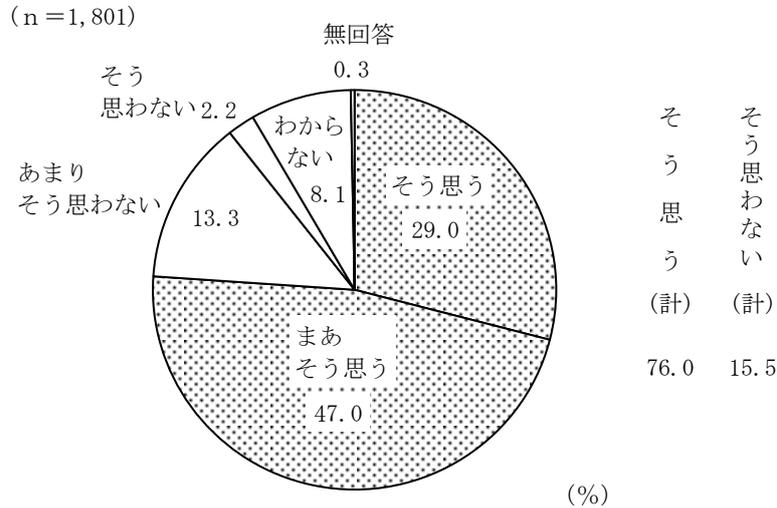
(注) 『そう思う (計)』は「そう思う」「まあそう思う」の合計
 『そう思わない (計)』は「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計

(7) 海外発信：

歌舞伎などの伝統文化からアニメなどの現代文化まで幅広く楽しめる日本の芸術文化の魅力は、海外に発信されていると思うか聞いた

(本文 P16～P17)

- ・『そう思う (計)』が76%
- ・『そう思わない (計)』が16%



(注) 『そう思う (計)』は「そう思う」「まあそう思う」の合計
 『そう思わない (計)』は「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計

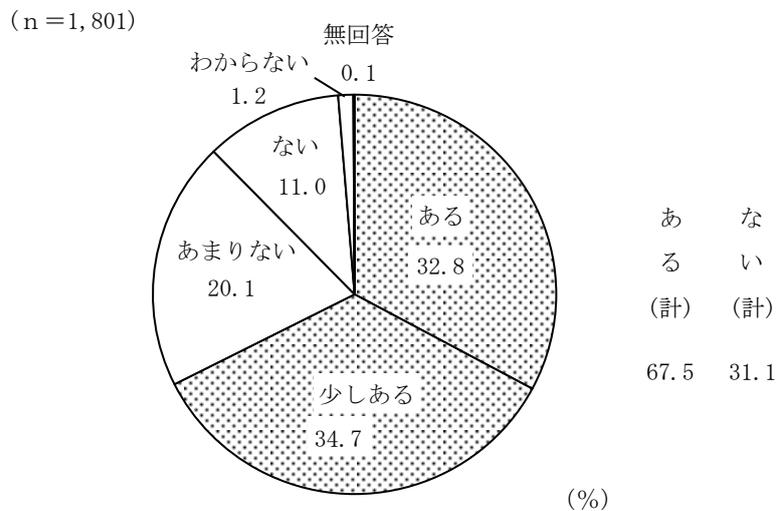
2 都民の文化活動

(1) 文化鑑賞・文化イベント参加への興味・関心：

芸術や文化を鑑賞したり、文化イベントに参加することに興味・関心があるか聞いた

(本文 P18～P21)

- ・『ある (計)』が68%
- ・『ない (計)』が31%



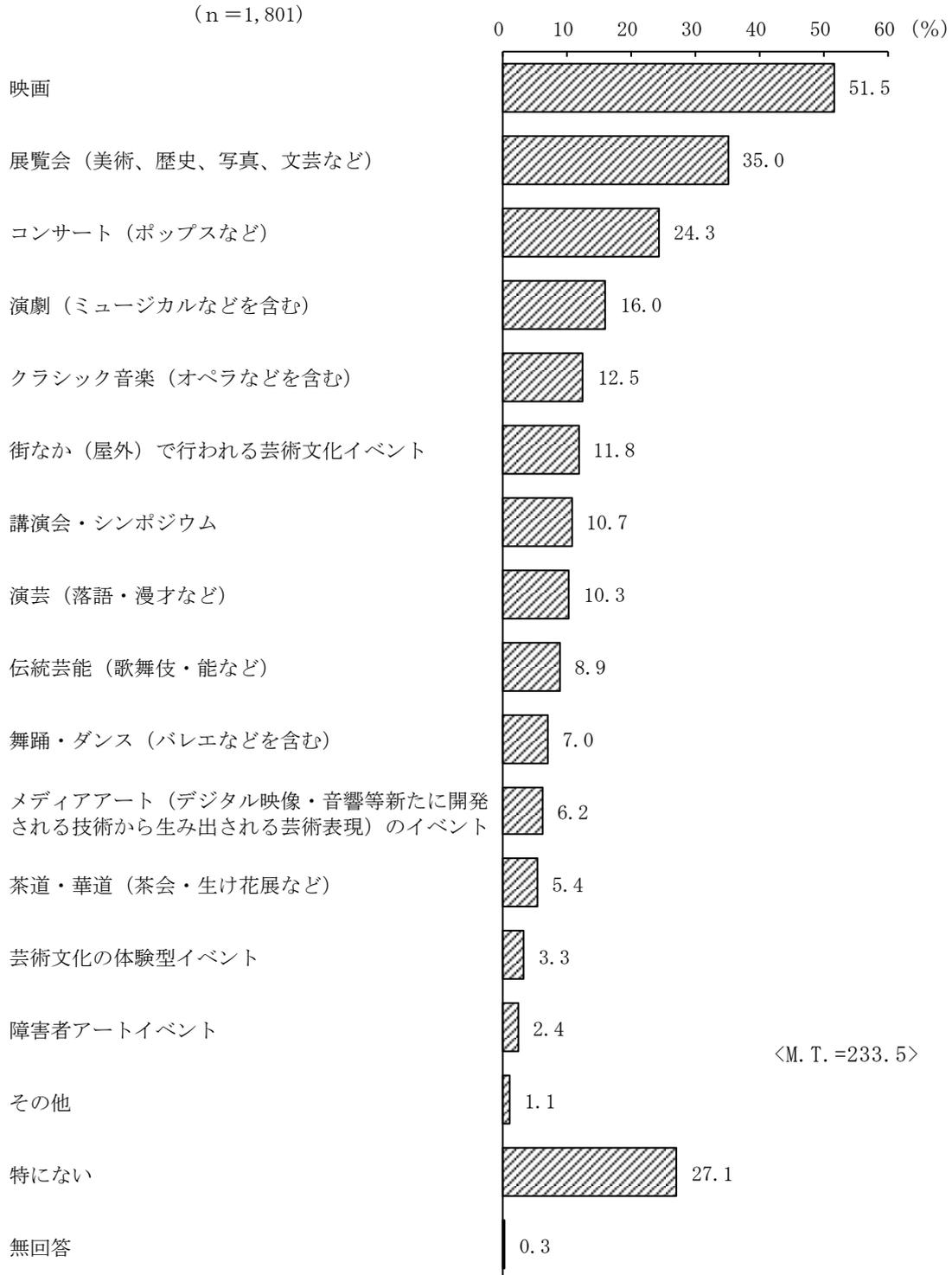
(注) 『ある (計)』は「ある」「少しある」の合計
 『ない (計)』は「あまりない」「ない」の合計

(2) 文化鑑賞・文化イベント参加の経験：

この1年間に、芸術や文化を鑑賞したり、文化イベントに参加したか聞いた (M. A.)

(本文 P 22～P 25)

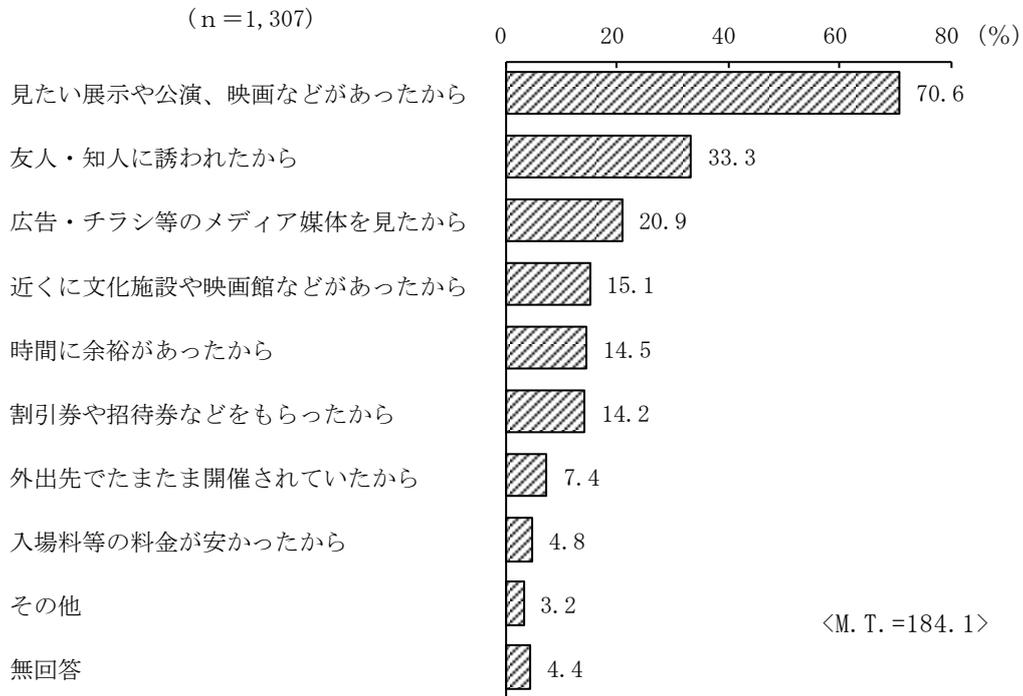
- ・「映画」が52%でトップ
- ・「展覧会 (美術、歴史、写真、文芸など)」35%、「コンサート (ポップスなど)」24%が続く



(3) 鑑賞・参加した理由：

この1年間に芸術や文化を鑑賞・参加したと答えた人（1,307人）にその理由を聞いた（M. A.）
 （本文 P 26～ P 29）

- ・「見たい展示や公演、映画などがあったから」が71%でトップ
- ・「友人・知人に誘われたから」33%、「広告・チラシ等のメディア媒体を見たから」21%が続く

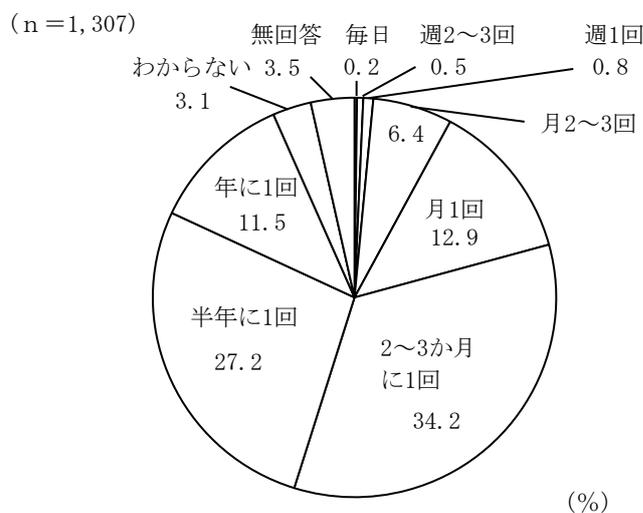


(4) 鑑賞・参加した回数：

この1年間に芸術や文化を鑑賞・参加したと答えた人（1,307人）に鑑賞・参加した回数を聞いた

（本文 P 30～ P 32）

- ・「2～3か月に1回」が34%でトップ
- ・「半年に1回」27%、「月1回」13%、「年に1回」12%が続く



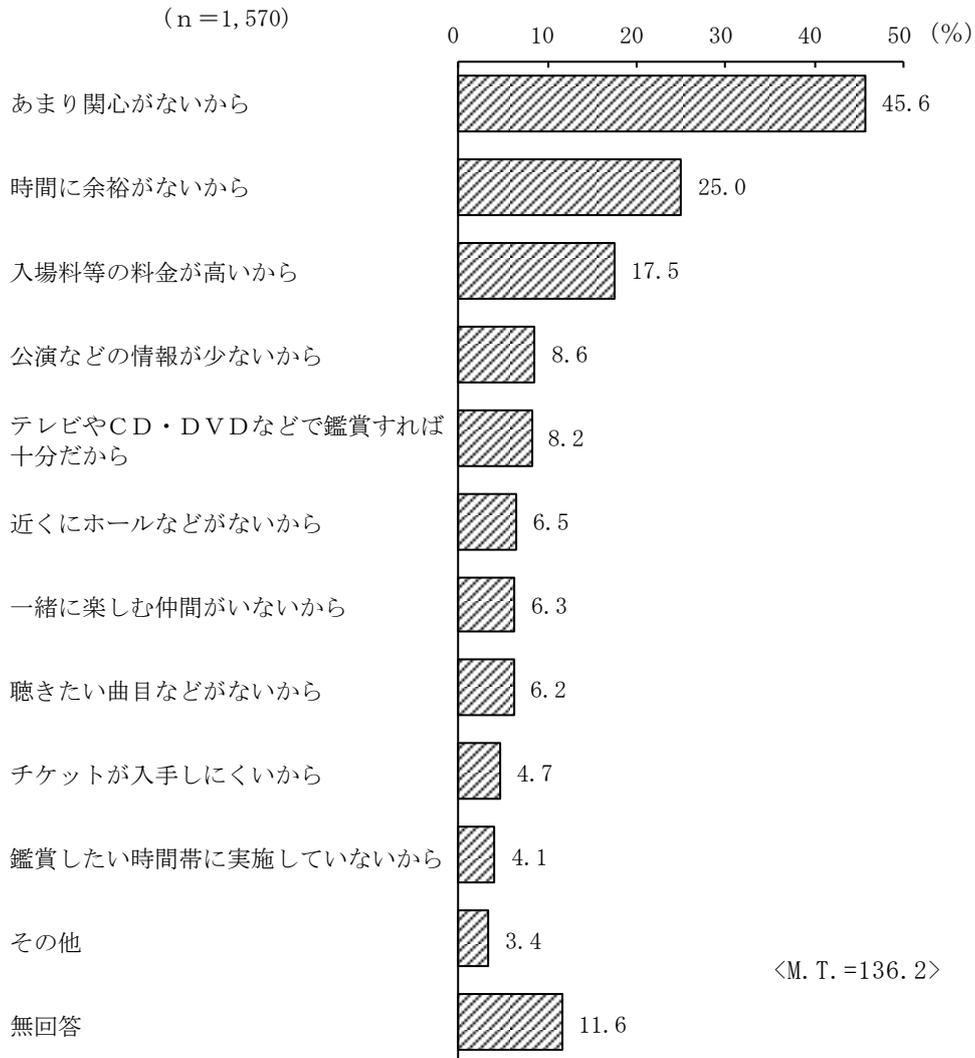
(5) クラシック音楽鑑賞をしない理由：

この1年間にクラシック音楽（オペラなどを含む）を鑑賞しなかったと答えた人（1,570人）にその理由を聞いた

(M. A.)

(本文P33～P36)

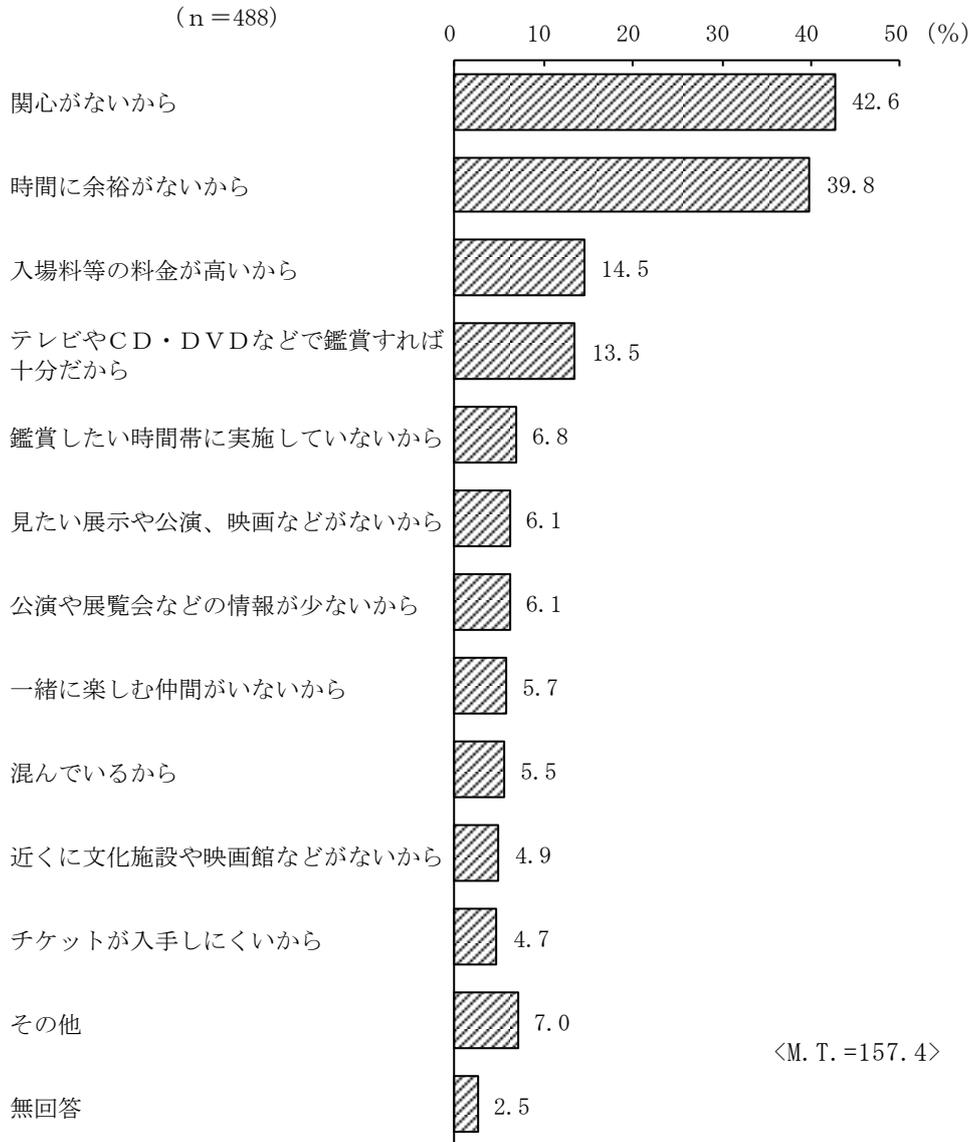
- ・「あまり関心がないから」が46%でトップ
- ・「時間に余裕がないから」25%、「入場料等の料金が安いから」18%が続く



(6) 鑑賞・参加しなかった理由：

この1年間に芸術や文化を鑑賞・参加しなかったと答えた人（488人）にその理由を聞いた
(M. A.)
(本文 P 37～ P 39)

- ・「関心がないから」が43%でトップ
- ・「時間に余裕がないから」40%、「入場料等の料金が高いから」15%が続く

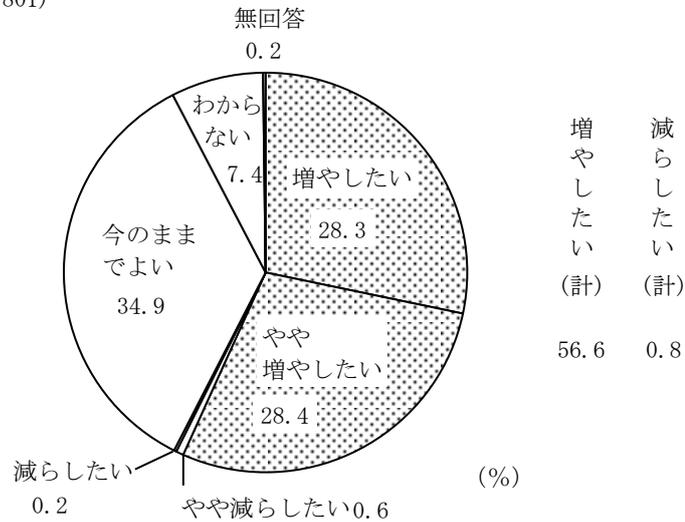


(7) 今後の文化鑑賞の機会：

芸術や文化を鑑賞したり、文化イベントに参加する機会を今後増やしたいと思うか聞いた
(本文 P 40～ P 42)

- ・『増やしたい (計)』が57%
- ・「今のままでよい」が35%

(n = 1, 801)



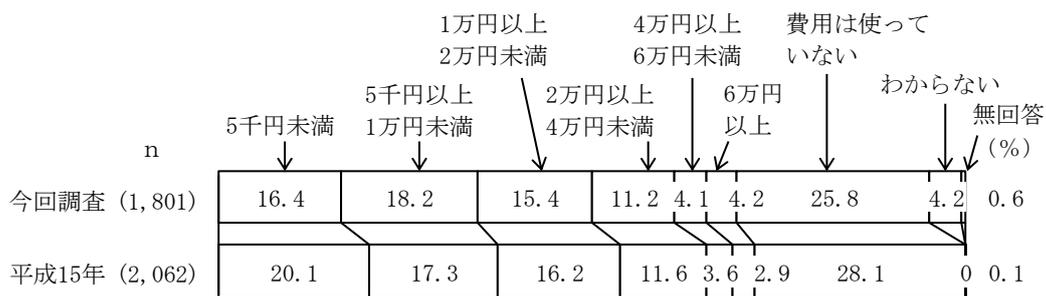
(注) 『増やしたい (計)』は「増やしたい」「やや増やしたい」の合計
『減らしたい (計)』は「やや減らしたい」「減らしたい」の合計

(8) 文化鑑賞のために使った費用：

この1年間に、芸術や文化を鑑賞したり、文化イベントに参加するためにどのくらい入館料や観覧料を使ったか聞いた

(本文 P 43～ P 45)

- ・「費用は使っていない」が26%でトップ
- ・「5千円以上1万円未満」18%、「5千円未満」16%、「1万円以上2万円未満」15%が続く



(注1) 平成15年の質問文は「あなたは、この1年間に、美術館、博物館や劇場・音楽ホール、映画館などでの鑑賞のためにどのくらい入館料や入場料金を使いましたか」としていた

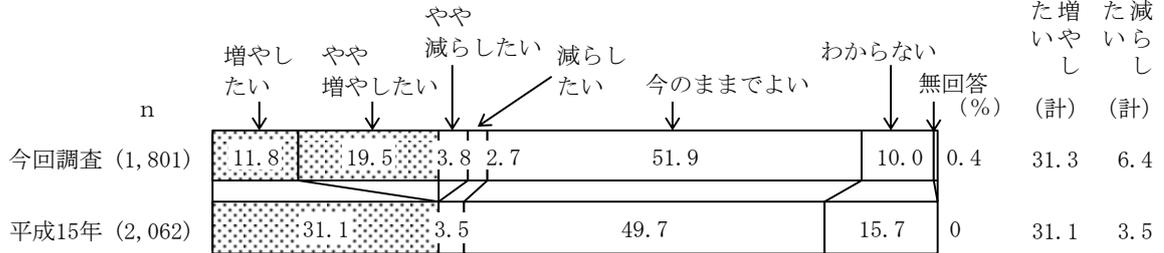
(注2) 今回調査から新たに「わからない」を追加した

(9) 今後の文化鑑賞の費用：

芸術や文化の鑑賞費用や文化イベントの参加費用を今後増やしたいと思うか聞いた

(本文 P 46～ P 50)

- ・『増やしたい (計)』が31%
- ・「今のままでよい」が52%



(注1) 『増やしたい (計)』は「増やしたい」「やや増やしたい」の合計

『減らしたい (計)』は「やや減らしたい」「減らしたい」の合計

(注2) 平成15年の質問文は「あなたは、美術館、博物館や劇場・音楽ホール、映画館などでの鑑賞のために使う費用を、今後増やしたいと思いますか。それとも減らしたいと思いますか」としていた

(注3) 今回調査から新たに「やや増やしたい」「やや減らしたい」を追加した

(注4) 「増やしたい」は平成15年では「増やしたいと思う」としていた

(注5) 「減らしたい」は平成15年では「減らしたいと思う」としていた

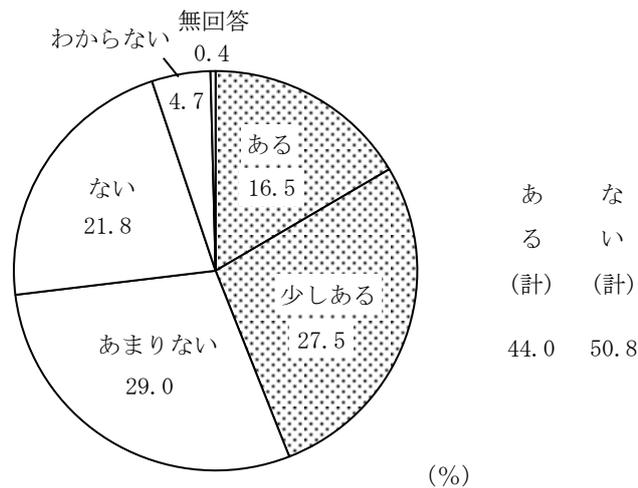
(10) 文化活動への興味・関心：

自身が文化活動を行うことに興味・関心があるか聞いた

(本文 P 51～ P 53)

- ・『ある (計)』が44%
- ・『ない (計)』が51%

(n = 1,801)



(注) 『ある (計)』は「ある」「少しある」の合計

『ない (計)』は「あまりない」「ない」の合計

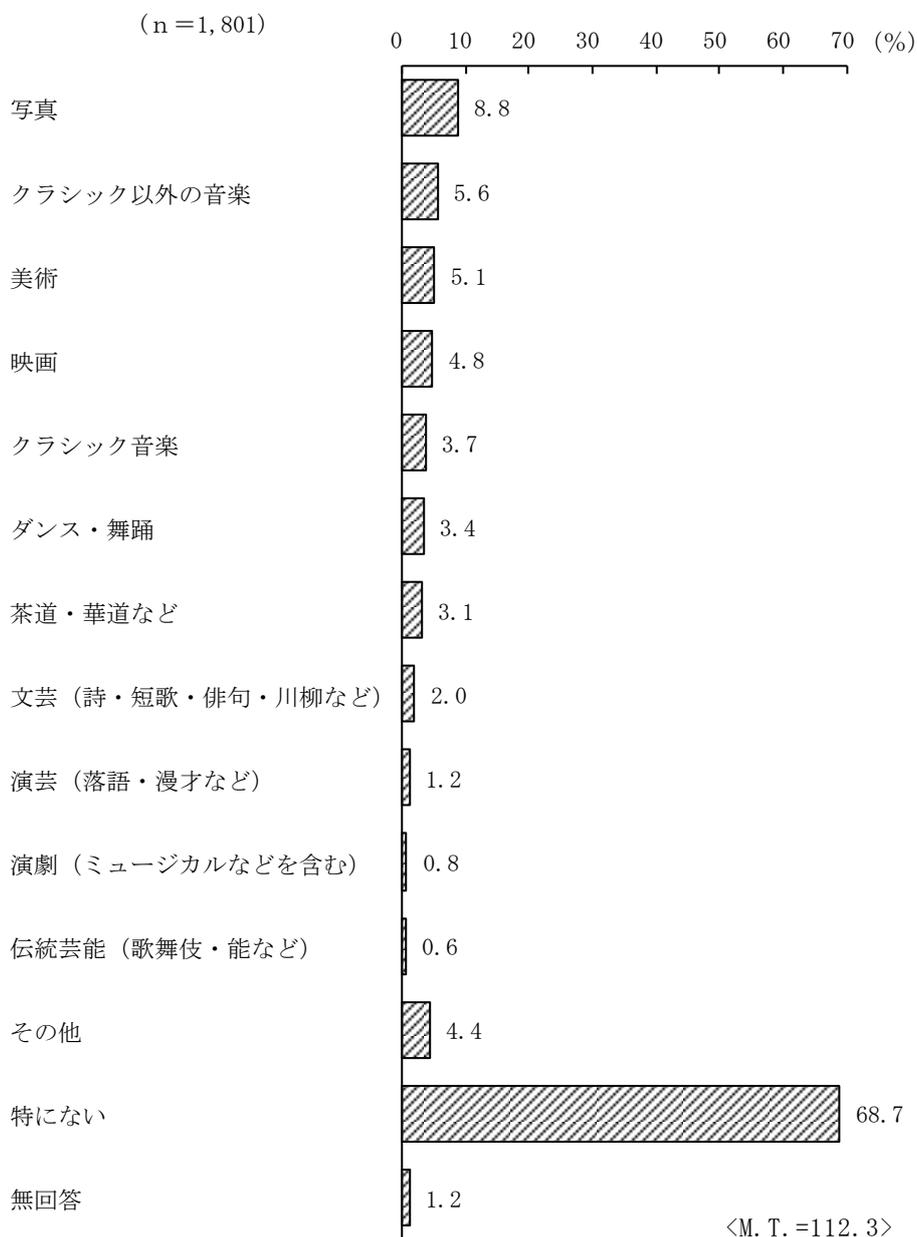
(11) 文化活動の経験：

この1年間に、習い事や趣味の活動として、自分で演じたり作ったりしたものがあるか聞いた

(M. A.)

(本文 P 54～ P 56)

- ・「写真」が9%でトップ、「クラシック以外の音楽」6%、「美術」、「映画」5%が続く
- ・「特にない」が69%

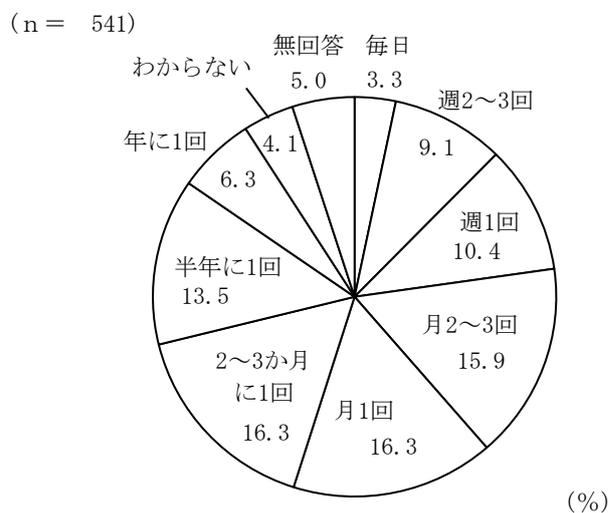


(12) 実施した回数：

この1年間に、習い事や趣味の活動として、自分で演じたり作ったりしたものと答えた人（541人）に実施した回数を聞いた

(本文 P57～P59)

- ・「月2～3回」、「月1回」、「2～3か月に1回」が16%
- ・「半年に1回」14%、「週1回」10%が続く

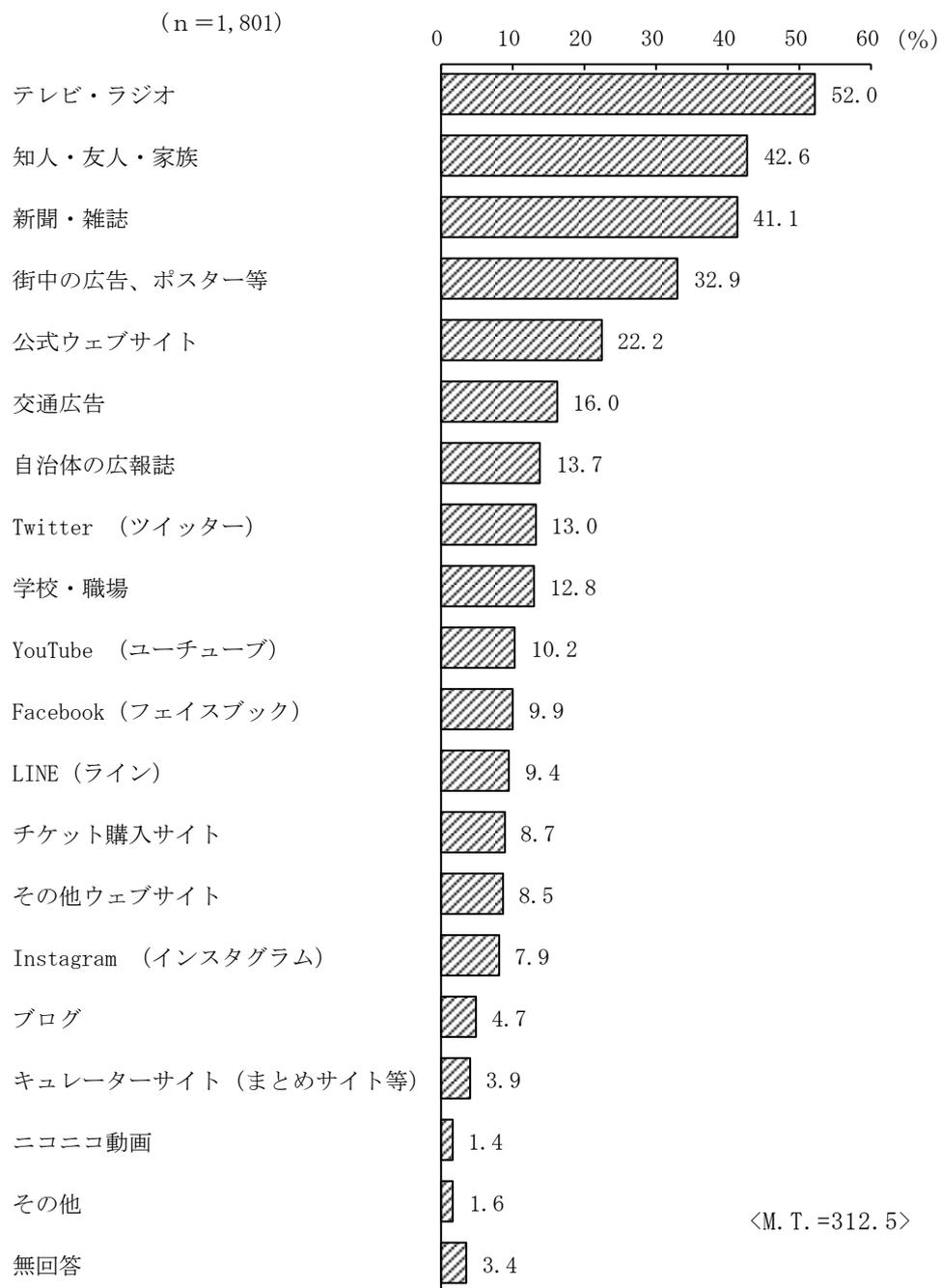


(13) 情報入手方法：

文化活動（鑑賞のみも含む）に関する情報をどのように入手するか聞いた（M. A.）

（本文P60～P64）

- ・「テレビ・ラジオ」が52%でトップ
- ・「知人・友人・家族」43%、「新聞・雑誌」41%、「街中の広告、ポスター等」33%が続く



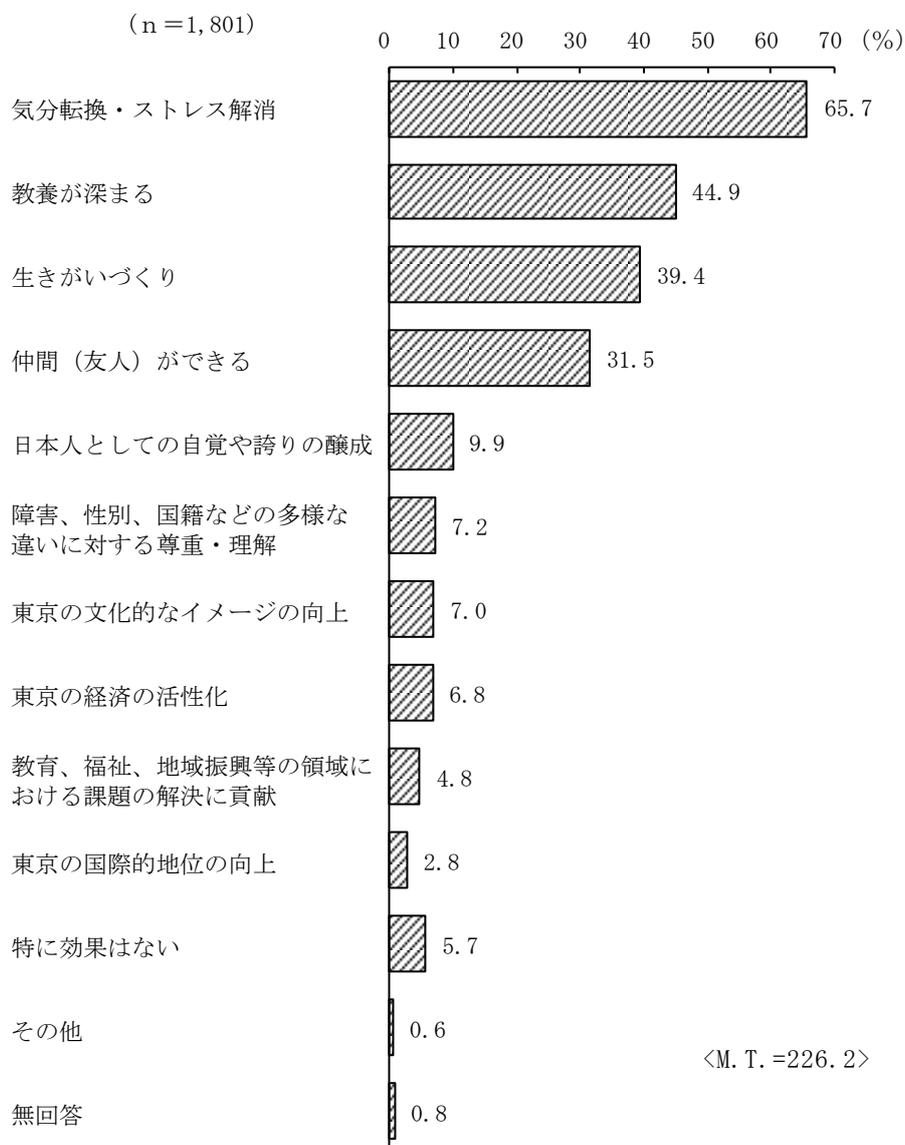
(14) 文化活動の効果：

文化活動（鑑賞のみも含む）を行うことで、どういった効果が生まれると思うか聞いた

(3M. A.)

(本文 P 65～ P 69)

- ・「気分転換・ストレス解消」が66%でトップ
- ・「教養が深まる」45%、「生きがいがづくり」39%、「仲間（友人）ができる」32%が続く

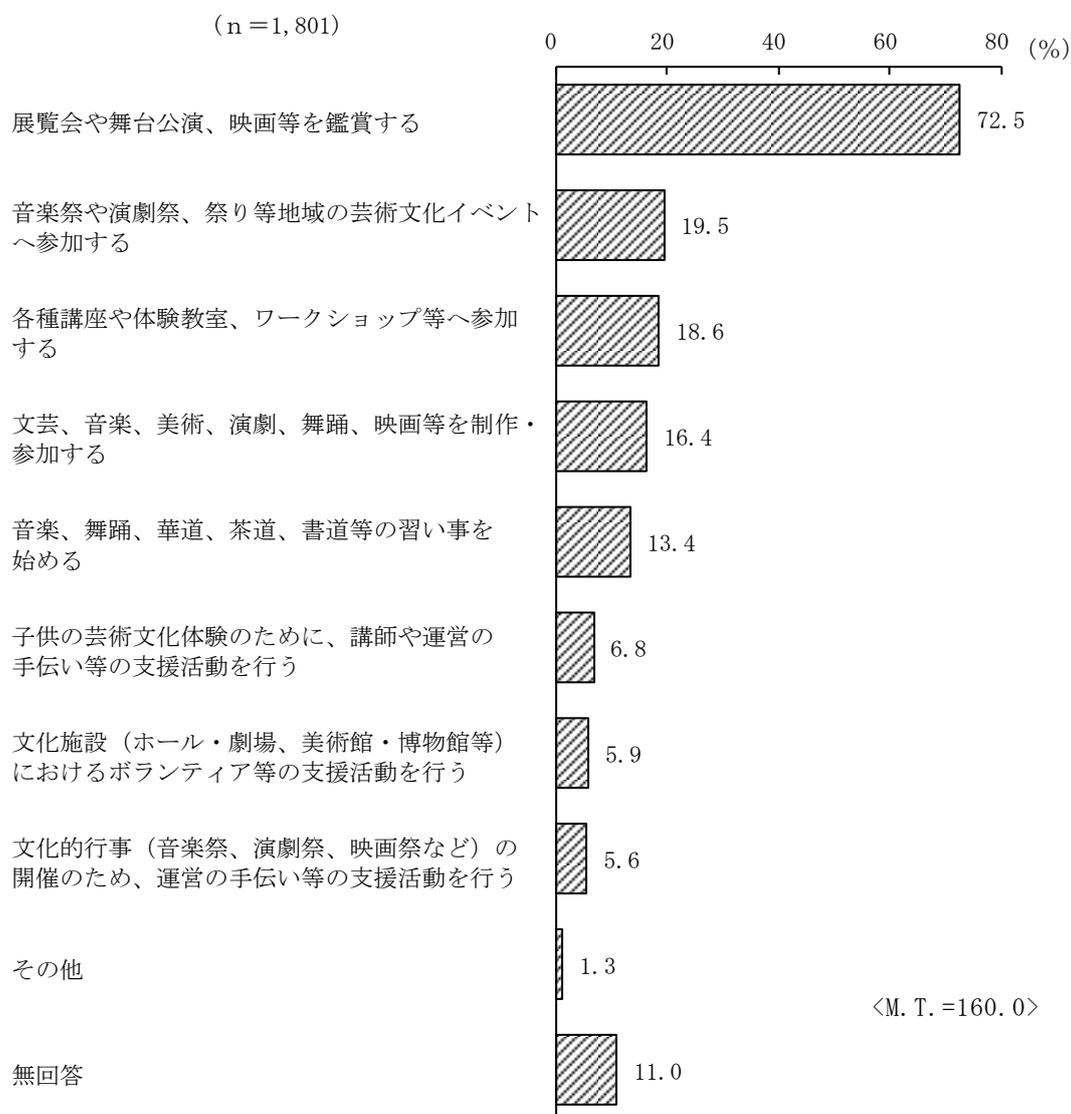


(15) 今後の文化活動：

今後、どのような文化活動（鑑賞のみも含む）をしていきたいか聞いた（3M. A.）

（本文P70～P73）

- ・「展覧会や舞台公演、映画等を鑑賞する」が73%でトップ
- ・「音楽祭や演劇祭、祭り等地域の芸術文化イベントへ参加する」20%、「各種講座や体験教室、ワークショップ等へ参加する」19%が続く



3 東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラム

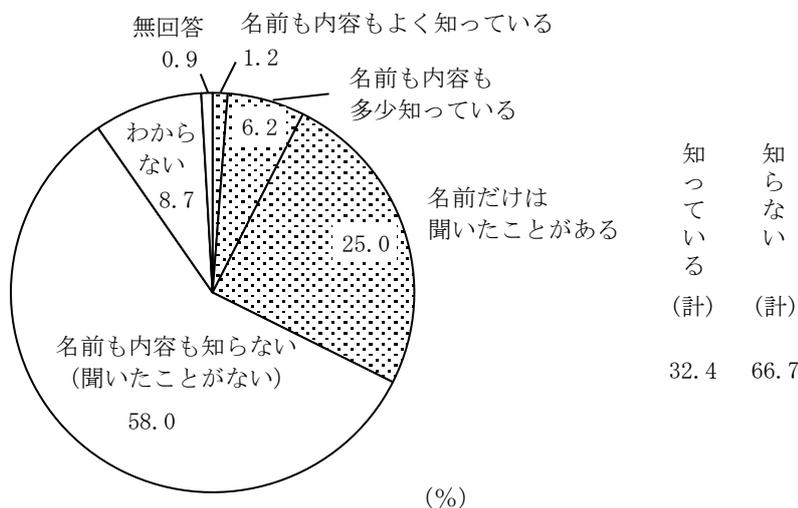
(1) 文化プログラムの都民の認識：

「文化プログラム」という言葉を知っているか聞いた

(本文 P 74～P 76)

- ・『知っている (計)』が32%
- ・『知らない (計)』が67%

(n = 1,801)



(注) 『知っている (計)』は「名前も内容もよく知っている」「名前も内容も多少知っている」「名前だけは聞いたことがある」の合計

『知らない (計)』は「名前も内容も知らない (聞いたことがない)」「わからない」の合計

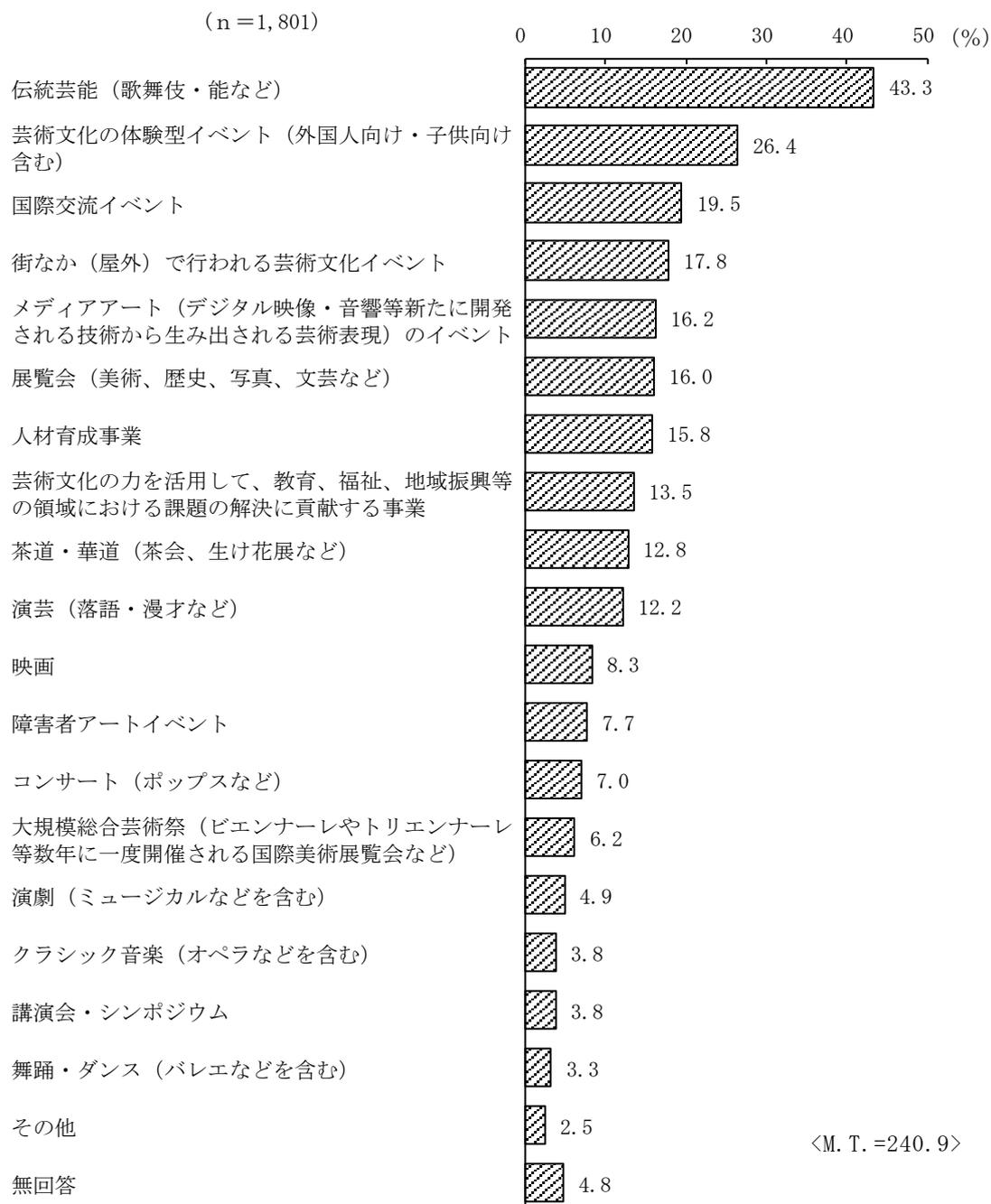
※文化プログラムとは：オリンピック・パラリンピック大会はスポーツだけではなく文化の祭典でもあります。近年の大会では、前のオリンピックが開催されてから次のオリンピックが開催されるまでの期間において、開催都市をはじめ各地で様々な文化イベント(=「文化プログラム」)が実施されています。特に、2012年のロンドン大会では、4年間で、かつてない規模で様々な文化プログラムを展開し、オリンピック・パラリンピック大会の成功につなげました。東京2020大会の場合は、2016年9月からの4年間がその時期にあたります。

(2) 文化プログラムの都の取組 :

2020年に向けてさまざまな文化プログラムを展開することで東京の芸術文化の魅力を国内外に発信していくために、また、次世代へと繋がる文化的レガシー（遺産）を生み出し、世界に誇れる文化都市東京を実現するために、東京都が積極的に進めていくべきだと思ふ取組・振興すべき分野を聞いた（3M. A.）

（本文 P 77～P 80）

- ・「伝統芸能（歌舞伎・能など）」が43%でトップ
- ・「芸術文化の体験型イベント（外国人向け・子供向け含む）」26%、「国際交流イベント」20%、「街なか（屋外）で行われる芸術文化イベント」18%が続く

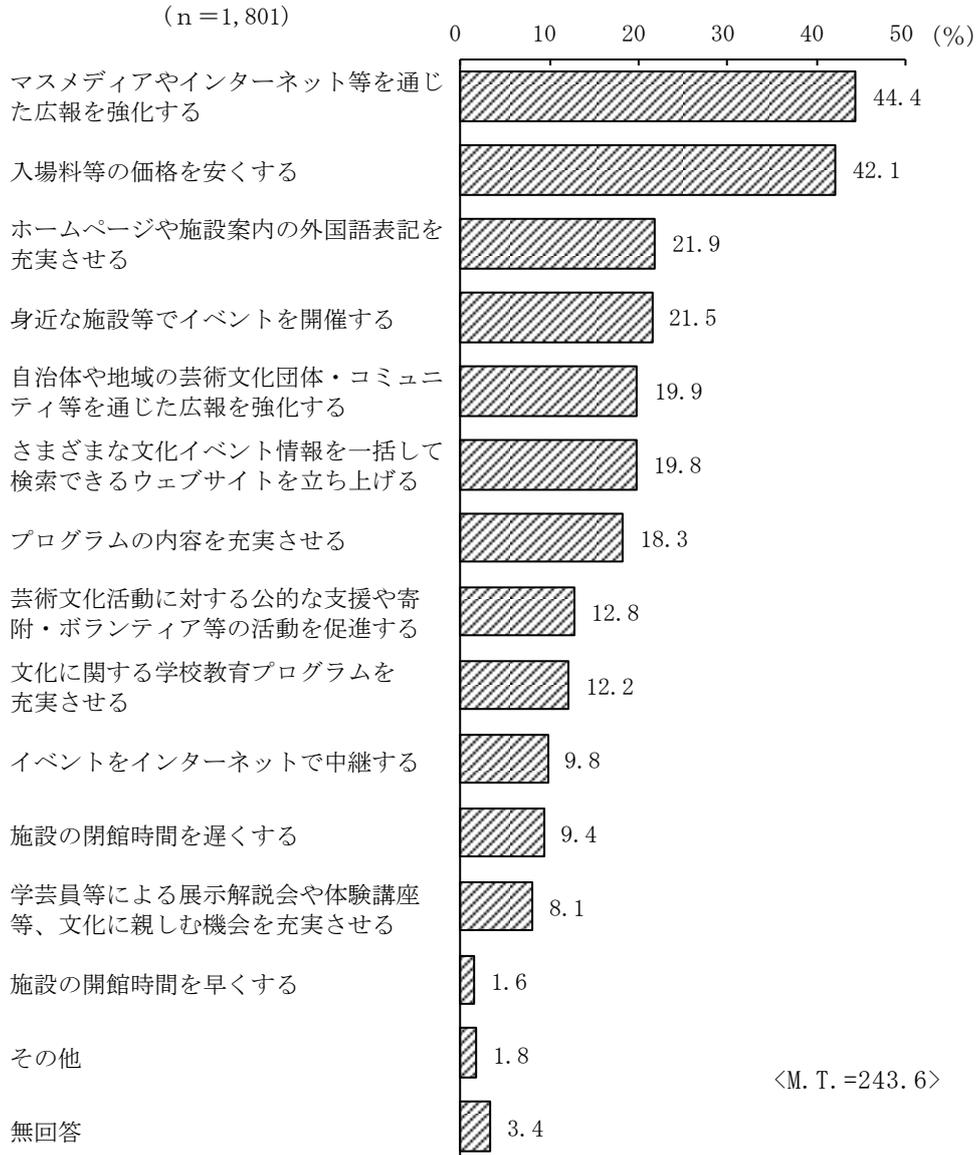


(3) 文化プログラムの環境整備：

文化プログラムに国内外の多くの人々が参加するために、どのような環境整備が必要だと思いか聞いた (3M. A.)

(本文 P81～P85)

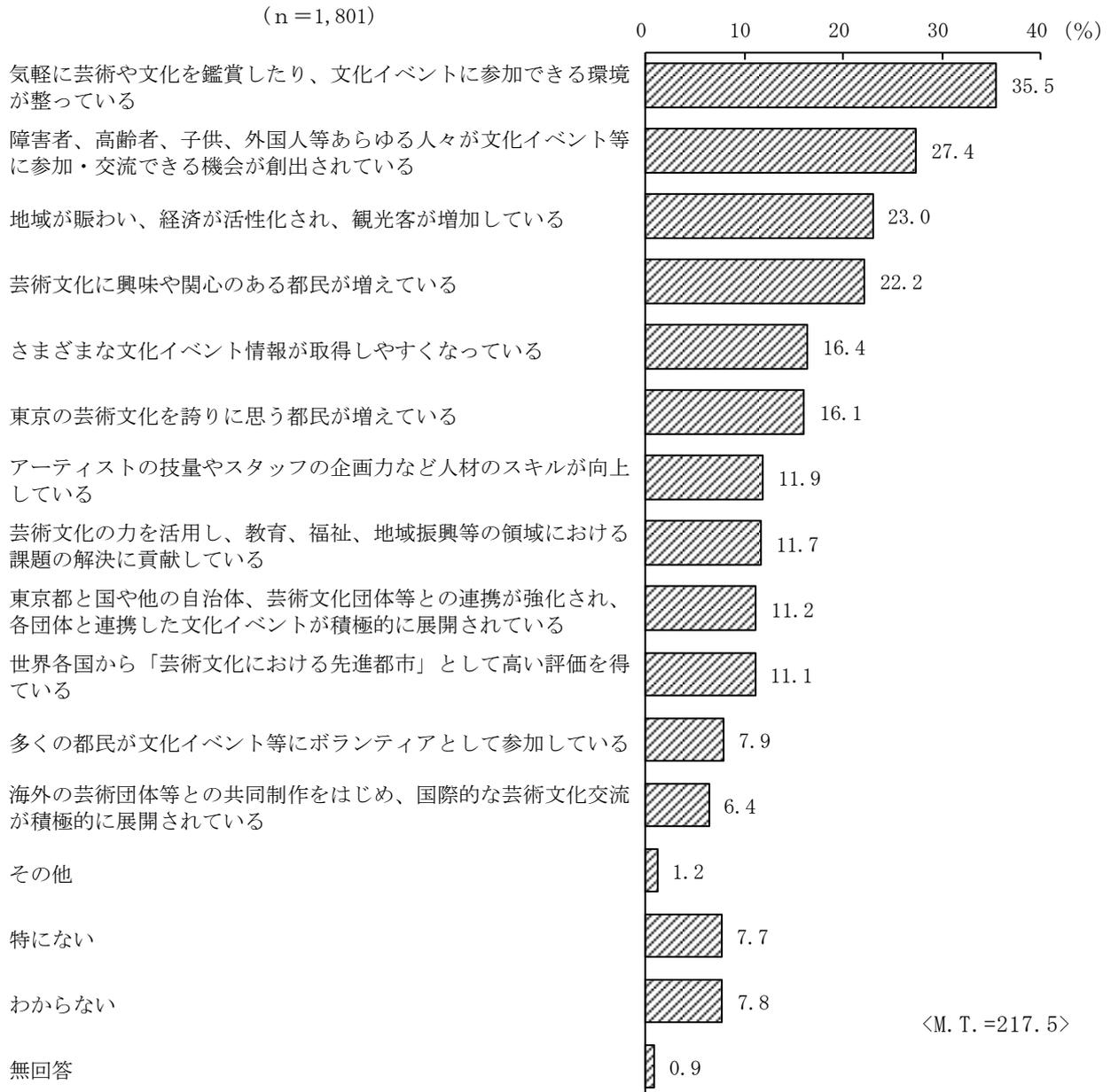
- ・「マスメディアやインターネット等を通じた広報を強化する」が44%でトップ
- ・「入場料等の価格を安くする」42%、「ホームページや施設案内の外国語表記を充実させる」、「身近な施設等でイベントを開催する」22%が続く



(4) 大会後の文化的レガシー：

東京2020大会の後、どのような文化的レガシー（遺産）を生み出せると良いと思うか聞いた
 (3M. A.)
 (本文P86～P90)

- ・「気軽に芸術や文化を鑑賞したり、文化イベントに参加できる環境が整っている」が36%でトップ
- ・「障害者、高齢者、子供、外国人等あらゆる人々が文化イベント等に参加・交流できる機会が創出されている」27%、「地域が賑わい、経済が活性化され、観光客が増加している」23%が続く



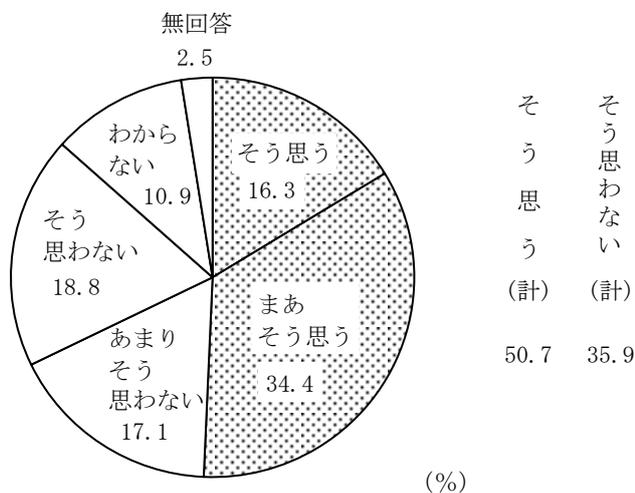
(5) 文化プログラムへの参画：

文化プログラム（鑑賞を含む）に参加したいと思うか聞いた

(本文 P91～P95)

- ・『そう思う（計）』が51%
- ・『そう思わない（計）』が36%

(n=1,801)



(注) 『そう思う（計）』は「そう思う」「まあそう思う」の合計
 『そう思わない（計）』は「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計

4 これからの東京の文化振興（経済と文化）

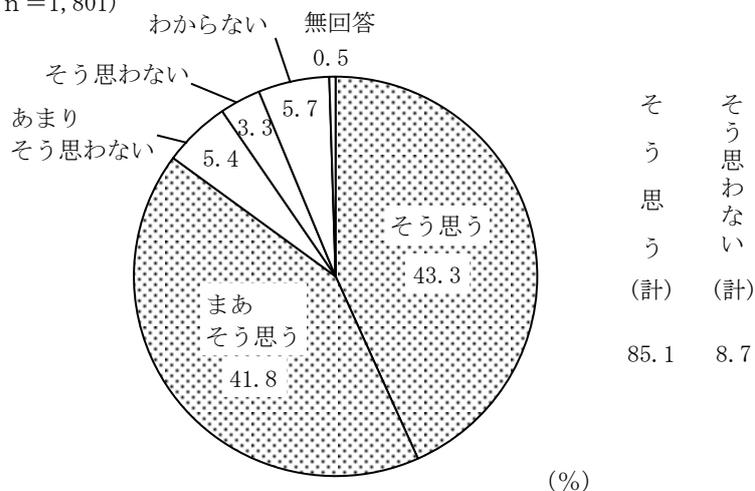
(1) 文化による経済・観光の活性化：

地域で新たな文化イベントを企画したり、その地域で親しまれてきたお祭りや芸能を振興させることは、地域の経済や観光を活性化させることにつながると思うか聞いた

(本文 P96～P98)

- ・『そう思う（計）』が85%
- ・『そう思わない（計）』が9%

(n=1,801)



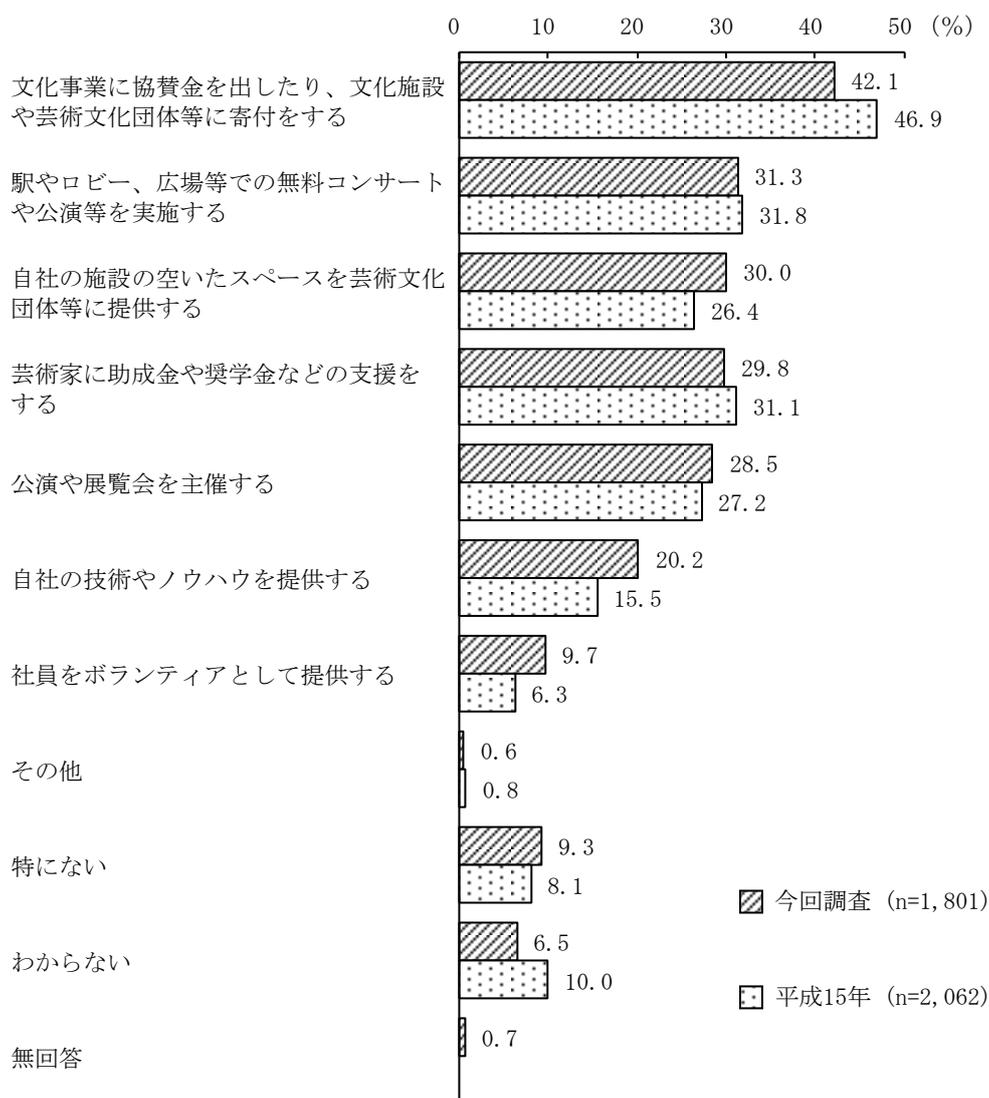
(注) 『そう思う（計）』は「そう思う」「まあそう思う」の合計
 『そう思わない（計）』は「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計

(2) 民間企業等が行う文化支援活動に対する期待：

民間企業が文化活動に援助や貢献を行うことについて、今後何を期待するか聞いた (3M. A.)

(本文 P99～P101)

- ・「文化事業に協賛金を出したり、文化施設や芸術文化団体等に寄付をする」が42%でトップ
(平成15年よりも5ポイント減少)
- ・「駅やロビー、広場等での無料コンサートや公演等を実施する」31%、「自社の施設の空いたスペースを芸術文化団体等に提供する」、「芸術家に助成金や奨学金などの支援をする」30%が続く



(注1) 「文化事業に協賛金を出したり、文化施設や芸術文化団体等に寄付をする」は平成15年では「文化事業に協賛金を出したり、文化施設や文化団体に寄付をする」としていた

(注2) 「駅やロビー、広場等での無料コンサートや公演等を実施する」は平成15年では「駅やロビー、広場などでの無料コンサートを実施する」としていた

(注3) 「自社の施設の空いたスペースを芸術文化団体等に提供する」は平成15年では「会社の施設の空いたスペースを提供する」としていた

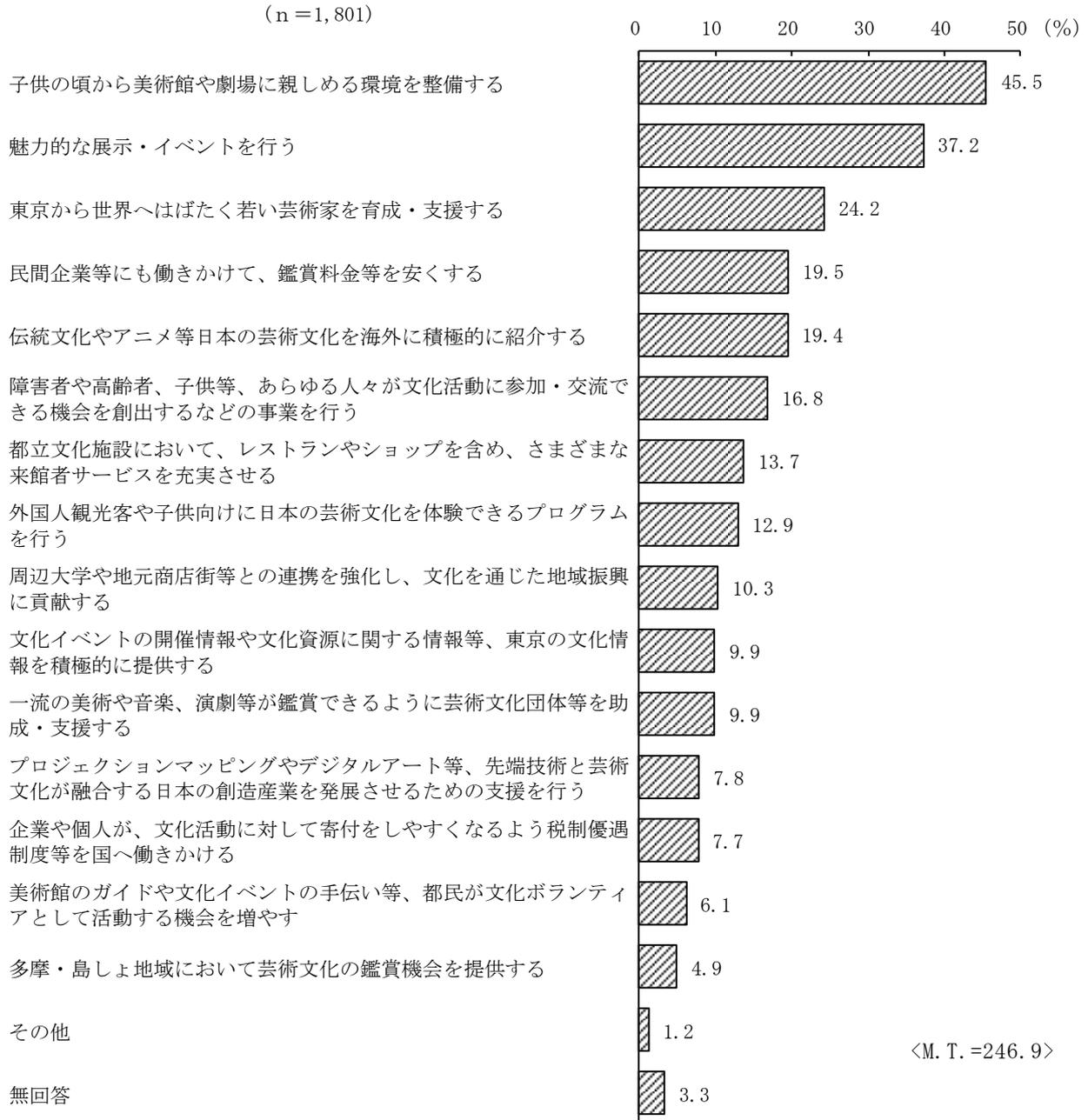
(注4) 「公演や展覧会を主催する」は平成15年では「公演や展覧会などを主催する」としていた

(3) 文化施策に対する要望：

東京の文化振興をさらに発展させるために、今後、東京都はどのような取組を積極的に進める必要があると思うか聞いた (3M. A.)

(本文 P 102～ P 106)

- ・「子供の頃から美術館や劇場に親しめる環境を整備する」が46%でトップ
- ・「魅力的な展示・イベントを行う」37%、「東京から世界へはばたく若い芸術家を育成・支援する」24%、「民間企業等にも働きかけて、鑑賞料金等を安くする」20%が続く

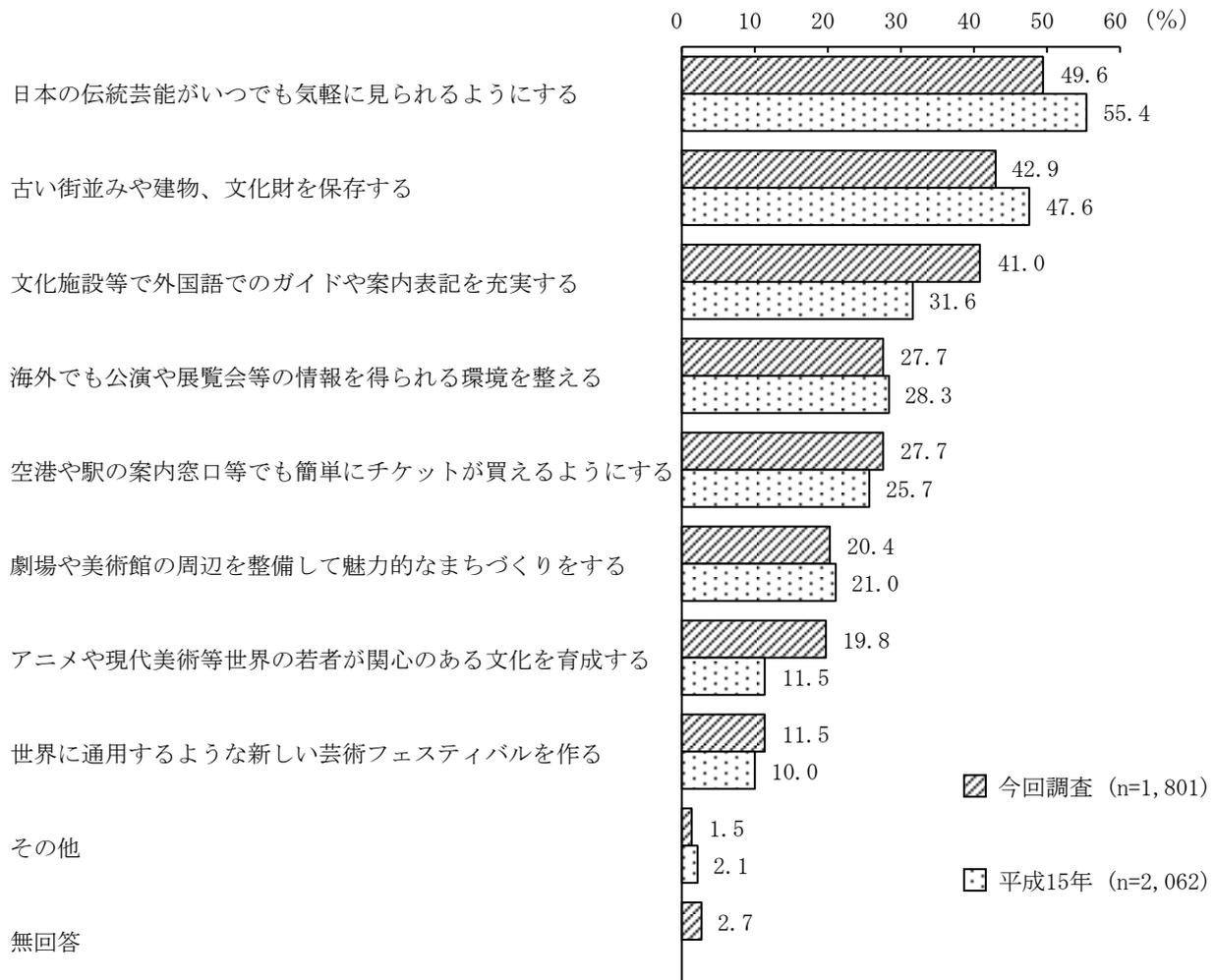


(4) 文化と観光：

東京の芸術文化を観光に活用して、外国からの観光客を増やすためには、今後、東京都はどのような施策を実施する必要があると思うか聞いた（3M. A.）

（本文 P 107～P 109）

- ・「日本の伝統芸能がいつでも気軽に見られるようにする」が50%でトップ（平成15年よりも6ポイント減少）
- ・「古い街並みや建物、文化財を保存する」43%、「文化施設等で外国語でのガイドや案内表記を充実する」41%が続く



（注1）「海外でも公演や展覧会等の情報を得られる環境を整える」は平成15年では「海外でも公演や展覧会などの情報がわかるようにする」としていた

（注2）「文化施設等で外国語でのガイドや案内表記を充実する」は平成15年では「美術館などでの外国語でのガイドや案内表記を充実する」としていた

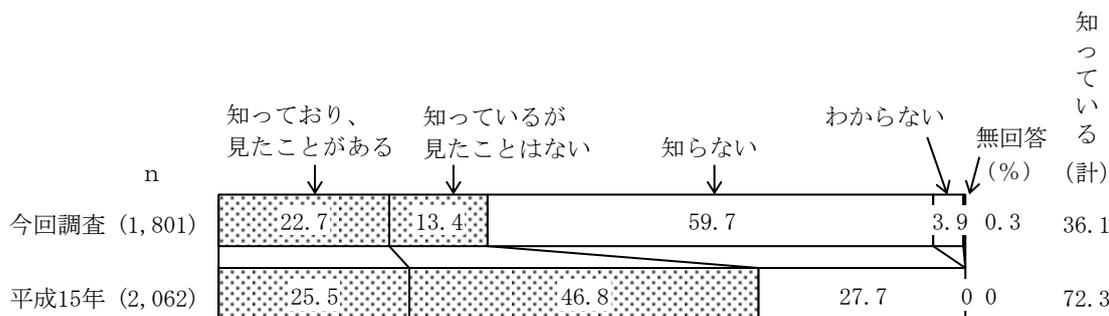
5 ヘブンアーティスト

(1) 「ヘブンアーティスト」の周知度と鑑賞経験：

都の審査に合格した方々が、公園などの場所で大道芸や音楽などを演じる「ヘブンアーティスト」事業を知っているか、また、実際に見たことがあるか聞いた

(本文P110～P112)

- ・『知っている（計）』が36%（平成15年より36ポイント減少）
- ・「知らない」が60%（平成15年より32ポイント増加）



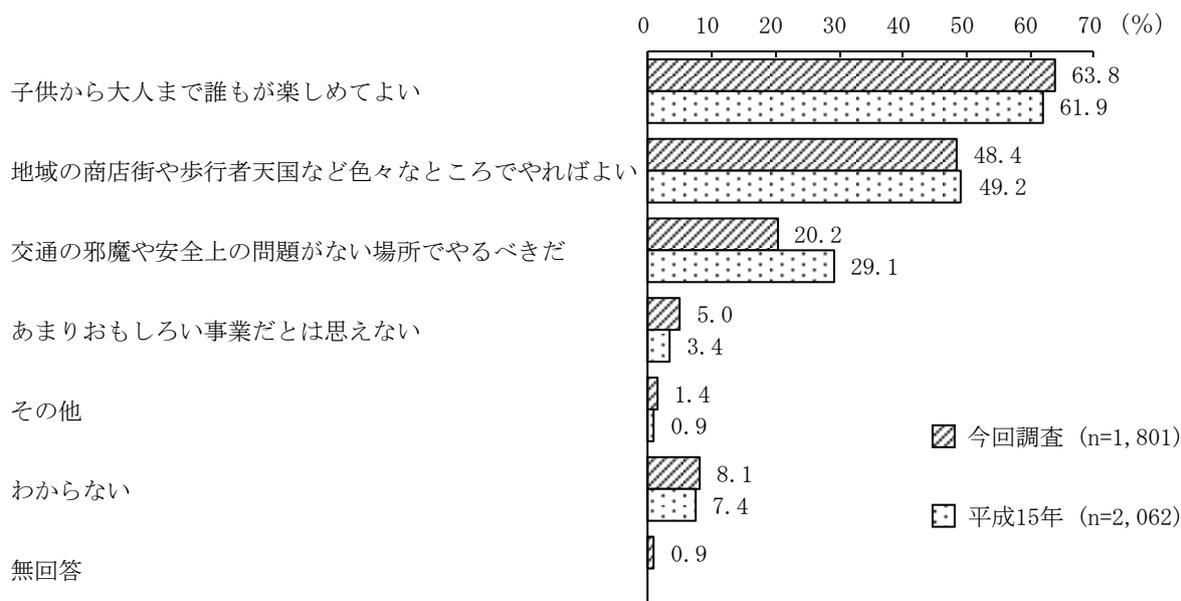
(注) 『知っている（計）』は「知っており、見たことがある」「知っているが見たことはない」の合計

(2) 「ヘブンアーティスト」に対する評価：

「ヘブンアーティスト」事業をどう思うか聞いた (2M. A.)

(本文P113～P114)

- ・「子供から大人まで誰もが楽しめてよい」が64%でトップ（平成15年より2ポイント増加）
- ・「地域の商店街や歩行者天国など色々なところでやればよい」48%、「交通の邪魔や安全上の問題がない場所でやるべきだ」20%が続く



(3) 「ヘブンアーティスト」の鑑賞意向：

「ヘブンアーティスト」を見てみたいと思うか聞いた

(本文P115～P116)

- ・『見てみたいと思う（計）』が80%（平成15年より3ポイント減少）
- ・『見てみたいと思わない（計）』が15%（平成15年より2ポイント減少）

n	見てみたいと思わない						と見 思 う み た い い い (計)	と見 思 わ な い い (計)
	見てみたい と思う	機会があれば 見てみたいと思う	あまり見てみたいと 思わない	見てみたいと思わない	わからない	無回答		
今回調査 (1,801)	25.0	55.2	8.0	7.3	4.3	0.1	80.3	15.3
平成15年 (2,062)	30.4	52.7	9.8	7.2	0	0	83.0	17.0

(注) 『見てみたいと思う（計）』は「見てみたいと思う」「機会があれば見てみたいと思う」の合計
 『見てみたいと思わない（計）』は「あまり見てみたいと思わない」「見てみたいと思わない」の合計